

大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 ㊟(毎月一回二十五日發行)

# 阿武郡報

第六十號



庶

務

大正十年十二月廿四日印刷  
大正十年十二月廿五日發行  
發行所 山口縣阿武郡役所  
山口縣阿武郡萩町  
第二千二百六番屋敷  
印刷所 萩 馨 海 館

## 目 次

- 庶 務
  - 一 大正九年度阿武郡納稅狀況……………一
  - 一 嘉年に於ける人口統計調査票……………三
  - 一 公衆作法……………四
- 學 事
  - 一 廣島岡山香川三縣學事視察報告……………七
  - 一 防長教育會貸費生……………三五
- 兵 事
  - 一 驅逐艦陽炎の經歷……………四〇
- 産 業
  - 一 第一回阿武郡北部六ヶ村聯合麥多收作共進會成績……………四二
  - 一 苗代蒲蒔の宣告……………四四

### □大正九年度阿武郡納稅狀況

▼ 國 稅

本年度郡内國稅賦課總稅額は二十万七千九百三十圓此人  
員七万千三百三十人にして之を前年度に對比し賦課額に於  
て五千百六十圓を減したるも人員に於ては九千六百四十  
六人の増加を示せり而して滯納額七百九十二圓此人員七  
十三人之を前年度に比較するときは金額に於て五百五十  
五圓人員に於て六十八人の増加を見る今之を細別すれば郡



内二十七ヶ町村中滞納者ありしは萩、川上、篠生、高俣吉部の五ヶ町村にして就中滞納者七十三人の内所在不明八人怠慢六十五人其の五十八人は萩町に於ける滞納者とす

▼ 縣 税

縣賦課總額は二十八万七千四百七十九圓此人員九万二千七百十八人之を前年に比較するときは税額に於て七萬三千四百五十五圓人員に於て八千九百五十七人を増加し滞納額は千五百七十圓此人員五百六人なり今之を前年度に對比するときは税額に於て八百五十二圓人員に於て二百九十六人を増加せり而して完納せるは椿、山田、三見、明木、佐々並、生雲、地福、嘉年、大井、福賀、六島、見島の十二ヶ村にして滞納者ありたるは萩、椿東、川上、篠生、徳佐、高俣、吉部、福川、紫福、奈古、宇田郷、須佐、彌富、小川、田万崎の十五ヶ村を數ふ之を滞納事由別に示せば貧困二十七人所在不明五十四人其他轉住等止むを得ざるもの五十七人就中怠慢二百八十八人にして滞納總人員の七割三分は萩町の住民とす

▼ 町 村 税

町村税賦課總額は六十三万二千九百圓此人員九万三千五百七十七人とす之を前年度の賦課額四十萬七千六百三十二圓

人員八萬四千六百七十七人に比較するときは税額に於て二十二万五千二百六十八圓及人員に於て八千八百三十八の激増を示せり而して滞納者を出せるは萩、椿東、川上、篠生、生雲、徳佐、高俣、吉部、福川、紫福、宇田郷、福賀、須佐、彌富、小川、田万崎の十六ヶ町村とし滞納總人員七百二十二人の内所在不明百五十五人貧困百十七人轉住其他九十人殊に怠慢に基くもの三百六十八人にして滞納總人員の約半數を占む椿、山田、三見、明木、佐々並、地福、嘉年、大井、奈古、六島、見島の十一ヶ村は滞納者なく完納の實蹟を挙げたり

以上之を要するに本年度國縣町村税各種を通したる總賦課額は百十二萬八千三百十圓此人員二十五萬七千三百五十五人にして前年度の總賦課額八十三萬六千七百九十八圓此人員二十二萬九千九百三十人に對し税額に於て二十九萬五千五百十二圓人員に於て二萬七千四百二十五人を増加し滞納總人員は九百二十一人にして前年度の四百八十八人に比して五百三十八即ち十二割強の増加せると滞納者中其の原因か怠慢に由るもの五割五分の多數を示せるは甚た遺憾とする所なり而して各税を通して一人の滞納者なく完納の實蹟を收めたるは椿、山田、三見、明木、佐々並、地福、嘉年、大井、六島、見島の十ヶ村とす且

生雲、徳佐、高俣、吉部、福川、紫福、奈古、宇田郷、須佐、彌富、小川、田万崎の十二ヶ村は數名の所在不明や怠慢者あるが爲に完納を見るに至らざるものあるか如く事前の施設より更に一步を進むるに於ては完納敢て難しとせず殊に滞納總人員の六割二分を有する萩町に在りては從來各種手段を盡して督勵に努むる所あるも尙未だ多數の滞納者あるに鑑み近時納稅者の便宜を圖りて各所に出張徴收を開始し一面各戸に宣傳ビラを配付して納稅思想の普及徹底を期待すへく吏員協力して矯弊の衝に當りつつあるは其の勞を多とせざるべからず要は郡内各町村に亘り益々良好なる成績を擧ぐると共に完納の持續に更に一段の努力を望んで止まざるなり

○ 嘉年村に於ける人口統計調査票

町村に於ける統計事務の正確且敏捷なることを要するは今更言を俟たざる所にして町村に於ても近時相當留意研究せらるるに至れり就中嘉年、彌富、篠生の各村に在りてはカード式人口統計調査票を作製して大に利便を得つあり左に嘉年村の分を掲げて参考に資す

▼ 調査票調製の目的

本村は各區に一名宛の調査吏員を設置し之に調査票を

備付けしめ各受持區の現住人口を調査せしめて統計報告の資となし一面何時にても村内の現住戸數人口や男女の別生年月日職業及學齡兒童、徴兵適齡者、種痘該當者をも知るの便に備へ絶へず各調査委員に之を加除訂正せしめて統計上の訓練をなす

▼ 調査票の記載例と用式

相當厚さを有する洋紙を用ひ縦四寸横三寸位とし枠及不動文字等は男の分は黒、女の分は赤となし混入を防ぐ其の様式左の如し

人口統計調査表 (男)

氏名	甲	村	二	郡
生年月日	明治十一年八月二十五日生			
身 分	戸 主			
職 業	主 農			
業 種	副 商			
摘 要				
住 所	第 八 區	第 三 區	第 一 區	第 二 區
種 族	平 民			



人口統計調査票 (女)

氏名	春野花子	
	年	明治三十年五月十二日生
	月	
	日	
身分	(次作母)	
	職	(商)
	業	(養蠶)
	副	(養蠶)
住所	第	第八區
	第	第
	第	第
	區	區
族稱	士族	
	芳野甲藏嬢	

調査票の内容説明

一、(男)甲村二郎なる者村内第十二區に住居し(甲村一郎長男)一郎死亡後戸主となり更に第八區へ移轉せるときは順次其の變更したる事項を記載し第十二區調査員は第八區調査委員へ其の調査票を送付す

二、(女)春野花子は元春野梅夫の婦なりも梅夫死亡後一夫の相續により身分は一夫の妻と變り更に一夫死亡後其の子次作の相續により身分は更に次作の母と代り商業を営みつつありしも芳野甲藏の嬢となり

て養蠶を主業とし第六區より第八區に移轉せる結果目下第八區に調査票を送付して第八區の調査委員之を管理することとなる如く該調査カードは本人と共に村内を轉々するものにて他村へ轉籍出寄留等の場合は廢棄することとし新に入り來れる者は其の身分を調査し新規に加ふることをなす

公衆作法

西洋文物の輸入に伴れて、社會的公共的設備は益々其の數を加へ、一般民衆の之を利用する場合が頗る多くなつて來たに拘らず、我が國民は今日尙共同生活に慣れず、社會的訓練を缺いて居る爲め、斯かる場合には常に不秩序亂雜を極めて居ります。これには本邦の公共的設備が尙甚だ不十分である事も亦與つて大に力あるかも知れませんが、兎に角右様の譯で、我が邦に於ける公衆間の作法は甚だ幼稚で、歐米國の秩序整然たるの比でありませぬ。故に此点に於て我が國民が、將來世界の文明國民に耻ぢない程度に達するまでには、非常な努力を要する事と思ひます。左に掲げた數ヶ條の如きは何人も是非嚴守勵行しなければならぬものばかりで、公衆作法の最少限度とも見做すべきものであります。

一、停車場、劇場、寄席等公衆が順次用を辨すべき場所では、嚴重に秩序を重んじ順番を亂さぬ様にする事

停車場に於ける切符賣場、改札口、劇場寄席等の下足預所、電車の昇降口等では今日尙混雜を免れませぬ。之れには設備の不完全、例へば電車の場合に於て車輛の不足といふ様な事も、自然混雜を來たすことになり

ますが、其の主なる原因は寧ろ他に在る様に思はれます。即ち我が國民一般に社會的訓練が不足し、各人に秩序を尊重する精神が缺けて居るからであります。半歩でも前きに居る人は決して之れを冒さず、何處までも紳士淑女としての態度を失はぬといふ心掛が望ましいのであります。

二、群集雜沓の場合には常に弱者を扶け、幼者老人等に對しては力めて路を避け席を譲る様にする事

群集雜沓の場合には我れ一と先を争ひ、殆ど強いの勝ちといふ有様であります。由來本邦人には強者を挫き弱者を扶けるといふ義侠的精神が頗る強盛であつたのであります。然るに近來幼者老人婦人等に對する同情の著しく減退した様に見受けらるるのには頗る遺憾に堪へません。殊に斯の種の作法は、今日他の國人間に於て却つてよく行はれて居る様に思はれますから、我

國民たるもの相戒めて文明國民としての體面を傷けない様努めたいと思ひます。

三、汽車、電車、寄席、劇場會堂等で横臥し、又は妄りに席を廣く取り或は容儀を崩つて肌を露らし、或は塵埃を起つる等すべて他人に迷惑を與へ不快を感せしむる如き行爲を慎むこと

公衆の前で横臥し或は妄りに席を廣く取つたり、着物の裾を卷き揚げて太股を露はしたり、人前で無遠慮に着替へをしたり、飲酒したり又は傍若無人に放歌したり、卑猥の談笑をしたり又は座席を拂つて塵埃を起したりするなどは、今日到る處で見受けるところであります

斯様な利己的行爲を敢てし醜態を現はすのは、要するに社會我乃至其處に居合はす團體の一員といふ思想を缺いて居るからだらうと思ひます。されば斯様な場所に於きましては自己の都合ばかりでなく、他人の迷惑と云ふ事も同時に考へて、出来るだけ周圍の人に不快不便を與へぬ様、お互に努める様に致したいと思ひます

四、公衆出入の場所であつて不必要物を棄てたり、唾唾を吐いたり、或は禁止の場所喫煙したりせぬ様にすること



公衆が多数出入する場所では、果物の皮包紙の類を棄て、妄りに痰唾を吐き平気で喫煙して隣人を困らすなどは普通見受ける所でありませぬ。我邦の人に斯様な不作法が殆ど平氣で出来るのは、畢竟他人の迷惑を顧慮する心掛を欠き、且つ衛生の思想が幼稚であるからうと思ひます。兎に角文明國民としての資格に大に缺けて居ります。されば各人に於て斯様な耻つべき振舞を慎む様にし、且つ必要な場所には、紙屑籠、不要物棄箱、唾壺等の備付けを怠らぬ様に努めたいと思ひます。

五、集會の時刻は多数者を考へて定め、開會の時刻に掛値をせず、且つ時刻に遅れぬこと。

従来集會の時刻の勵行されなかつたのは、時間尊重の觀念に乏しいのと、他人の迷惑を何とも思はぬ處から來て居る様であります。時間の尊重、定時勵行は實に生活改善の根本でありますから、是非之を實行する様にしたいと思ひます。時間の勵行されない今一つの事情は、これまで集會の時刻を定めるに當つて多数出席者の都合を考へぬばかりでなく常に時間に多少の掛値がある事なども亦大に關係あること、思ひます。故に集會の時刻は成るべく多くの人の都合をよく考慮して定め、且つ掛値のない正確な時間を通知する様にし、

定刻になつたならば、縦し少数の遅參者はあつても必ず開會する事にしたいと思ひます。尙定刻に出席する事が出来ぬ見込ある場合には、必ず其の趣を豫め通知して他の人の迷惑にならぬ様にすべきであります。

六、會食には特に服装及び身體の清潔に注意し、且つ食事の音を起すに注意すること。

多数集會の席へ出る場合には、服装や身體の清潔(頭髪、鬚、爪等)に注意して、他人に不快の感をも與へぬ様にすべき事勿論であります。會食の場台の如きは、此注意が一層肝要であります。襯衣や襟の汚れがあつたり食事中頭を掻き、鼻の穴を穿く等不潔に亘る事は必ず之を避くる様にし、又食事に際して物を咀嚼し汁を吸ふに、成るべく音を起すに注意したいと思ひます。

七、儀式講演等の席では安りに戸を開閉し、歩行に音を起す或は談笑して、靜肅を破ることなき様心掛くること。

儀式又は講演中、事情己むを得ず出入する場合には成るべく音を起すに注意し、或は爪先きで歩行する等會衆の妨げにならぬ様にしたいと思ひます。

八、街路通行の際には車道と人道との區別に従つて必ず左

側を通行し、交通頻繁の場所では兒童を遊ばせたり、横に列んで歩いたりして通行を妨げぬ様注意すること。本邦都市には兒童の遊園場や公園の設備が甚だ乏しい上に、一般に街路に對する見解が誤つて居るために、街路と公園との區別が無い様であります。其の結果街路の上の災害事故が頻發し通行を妨げ國民の活動能率を阻礙して居る事何程か知れませぬ。故に車道と人道との區別ある場合は勿論、區別の出來て居ない場合と雖ども、街路の中央は必ず急速力の交通機關に譲り外側を歩いて左側通行を勵行し、且つ街路で兒童を遊ばせたり、横に列んで歩いたりする等、すべて通行を妨げる行爲を慎む様にしたいと思ひます。

學 事

廣島岡山香川三縣學事視察報告

視 察 者

- 阿武郡視學 浴 金 治
- 明倫小學校訓導 香 川 政 一
- 白水小學校訓導 長 谷 武 光

- 佐々並小學校訓導 木 橋 安 宣
- 地福小學校訓導 搦 見 與 平 登
- 福川小學校訓導 阿 武 猛 雄
- 紫福小學校訓導兼校長 朝 枝 忠 治
- 福田小學校訓導兼校長 市 原 清
- 育英小學校訓導 木 藤 梅 吉
- 以上 九 名
- 視 察 地
- 十月十八日 廣島市体育會
- 同 十九日 吳市高等小學校及補習學校
- 吳市五番町尋常小學校
- 吳市小學校聯合体操打合會
- 同 二十日 吳海軍工廠
- 江田島海軍兵學校
- 同 二十一日 廣島縣御調郡向島尋常高等小學校及補習學校青年團
- 尾道市立土堂尋常小學校
- 同 二十二日 岡山市清輝尋常高等小學校及幼稚園
- 岡山邑久高等小學校
- 岡山邑久土曜學校
- 岡山邑久實科高等女學校



- 同二十四日 香川縣香川郡西尋常高等小學校
- 香川縣香川郡下笠居村處女會
- 香川縣三豐郡常盤村青年團
- 同二十五日 香川縣三豐郡觀音寺尋常高等小學校
- 香川縣三豐郡高等女學校
- 同二十六日 廣島市立女子高等小學校
- 廣島高等師範學校附屬小學校
- 同二十七日 廣島縣嚴島尋常高等小學校
- 同 嚴島青年團

總叙

新傾向が盛に社會を風靡する折柄隣縣の學事を視察して我と比較するは一行に取れて極めて趣味多きことに屬す視察日程僅に十日のみなるも一行は多くの期待を持ちて其の程に上れり幸にして一行は視察中に豫期以上の好材料を得て爰に之を報告するの光榮を得たり暫三縣の大勢につきて之を叙せん

くるもの、如し隨て縣全般を通じて同一方面の發展に向ふことは稍困難ならんも各校各自に確實なる根底を有して任意に適宜の施設に努力するに似たり視察中吳市高等小學校の躰操科、廣島高等師範學校の國語科嚴島小學校の藝術教育等につきて大に此の感あらしめたり岡山縣は嘗て教育上の聲望を博したる縣なり隨て何となく諸校に一種の根底を有し猥に浮薄なる流行に左右せられざる如き感あり岡山市の清輝校が一時間寫生式圖書を盛に行ひて兒童の自由描寫の手腕を頗尊重しながら新流行の自由書を或程度まで丸呑みを行ふを肯せざるが如き及び邑久高等小學校が盛に體育を奨勵し男兒童を體操。角力。擊劍。徒走の四部に分ちて兒童の趣味に應じたる深き指導までも行ひ到る處の聯合體育會には斯校が殆優勝旗を獨占する如き有様になりながら新傾向の櫻井式體操に據らずして戸山學校式を信じて動くことなきが如き其の一例と見るべし

涉りて近來教員間の研究盛なるを認むこれがために一時的流行の思潮等には是に影響を受くることなし又聞く昨年來香川縣に於ては校長及次席訓導の教育的實力確實なるにあらざれば正しき教育の建設をなし得べからずとし上席訓導中校長の候補人物若くは大校の校長候補に適する等有望の中堅者を集めて四週間の講習を行ふこととし教科は教育學。心理學。論理學。哲學及社會學とす終了後三ヶ月以内に論文を提出せしめ其の成果を見て増俸拔擢す女子の重要位置に擬せらるる者にも現に同様の講習を開始しありと

- 就學歩合 九九、七五
- 學級數に對する本科正教員配置歩合 〇、七九
- 男女教員の割合 男 〇、六四
- 女 〇、三六
- 師範學校公費生一ヶ月給費 五三
- 男 一〇圓 六八
- 女 一〇圓 二

外に入學費給與金 男 三〇圓 女 二五圓

師範卒業初任給 男 四八圓 (本年は五〇圓)

實業補習學校教員數 專任 一八五 兼任 一八五

圖書館數 公立 一二 私立 二二 校立 一

教員俸給額 最高 最低

小正(男)六四、〇三一 小正(女)四五、一〇九

專正(男)四九、四〇八 專正(女)三八、九六五

准正(男)四二、二六七 准正(女)三六、〇九七

准訓(男)三五、一六四 准訓(女)三〇、五五三

代用(男)三二、九二三 代用(女)二九、三七三

計(男)五四、八六四 計(女)四一、一五三



小學校

吳市吳高等小學校

(女)三六、〇八四 六八、〇〇二  
合計四八、七七三 一五三 二  
(以上大正九年三月末)

(一般)校長土井肩吉本校勤績十二年

俸給百三十五圓 加俸 百三十二圓

兒童數男一〇八二三 女一〇〇三三

計 二〇八五六

之を二十八學級に編制す

教員數男二十八人女子十四人にて女兒童の學級は全部女

教員の擔任なり

就學歩合 九八、六九

出席歩合 九六、二七

授業料 七〇錢

俸給平均額 本科 六二、九三 專科 六三、一七

(誓詞)

常に 身體を強健にして元氣よく品位を高め習 能を磨き正義と親切とを盡し勤勞を好み 以て

大御心に耐ふ人たらんことを務む

(方針)校長曰く自分は久しく當校に勤績するも長く同一の人居れば施設一新の機會に乏しく沈滞を免れ難きが故に自分は三四年毎に新に赴任したるの氣になりて諸般の施設を改め赴任以來之を行ふこと三回なり最初の三年間は成るべく前任者の施設を崩さぬやうにして側自分の立案を行はんとするに努めたり次の三四年間は全部自分の考の通りに全校を統率し頗痛快を覺ゆるまでに歩調も整ひ規律も行はれたりされども自分は元來束縛拘泥を嫌ふの性なるが故に更に考ふる所ありて第三次の轉化を試み校務教務の一切を教員兒童の手に任せ勝手に之を行はしむることせり職員は校長之を指導し生徒は教員之を指導するの基礎にして狂はざる以上は却て之を束縛せざるが宜しと考へたるなり實施後の経過を言へば最初餘り自由に失したる傾向あるを以て近來男子部と女子部とに各一人の主任を置く等聊か團體に中心を置き一任の區域を小く行替へたる等のことはあれども概して目下の狀態を以て自分は各自の意義ある活動と認む

(自治)此の校の自治は素より教員方面に於ても成功し居るならんされど兒童間の自治に於て頗成功し居るが如

し各學級に級長一人副級長一人理事三人あり以て全級員を引廻すやうにし毎月一回學級會を開きて各生互に學級方針施行事項等を討議す可否決せざるに當りて始めて之を教師に相談す

學校には又毎月一回級長會あり全校の級長を集めて全校關係の事項を協議す

學級會は學級教員の諮問機關となり級長會は校長の諮問機關となる

(立太子記念)土井校長が兒童自治の一例として示されたる一事に立太子の記念事業ありて今日まで存続す當時校長及職員はこの記念すべき皇室の御慶事に對して記念の必要を認め之を級長會に付議せり級長會は之を討議して紀念樹を植へることと記念講演を長く開催することとの二事を以て之に答へ職員會は之を承認して記念講演會は爾後毎年生徒の手にて持續せらるるといふ

所謂記念講演會は兒童中より選出の代表兒童に於て當日之を講ずるものにて創設以來毎年の題目を示せば左の如し

大正三年十一月三日講演

我が皇太子殿下御勤業

皇太子殿下の御勤業

(高一女生)

(一男)

一 壺切御劍 (二女)

二 皇太子殿下の御修學 (二男)

三 皇太子殿下の御聖學 (二男)

四 皇太子殿下の御聖學 (二女)

五 皇太子殿下の御聖學 (二男)

六 皇太子殿下の御聖學 (二女)

七 皇太子殿下の御聖學 (二男)

八 皇太子殿下の御聖學 (二女)

九 皇太子殿下の御聖學 (二男)

十 皇太子殿下の御聖學 (二女)

十一 皇太子殿下の御聖學 (二男)

十二 皇太子殿下の御聖學 (二女)

十三 皇太子殿下の御聖學 (二男)

十四 皇太子殿下の御聖學 (二女)

十五 皇太子殿下の御聖學 (二男)

十六 皇太子殿下の御聖學 (二女)

十七 皇太子殿下の御聖學 (二男)

十八 皇太子殿下の御聖學 (二女)

十九 皇太子殿下の御聖學 (二男)

二十 皇太子殿下の御聖學 (二女)

二十一年 皇太子殿下の御聖學 (二男)

二十二年 皇太子殿下の御聖學 (二女)

二十三年 皇太子殿下の御聖學 (二男)

二十四 皇太子殿下の御聖學 (二女)

二十五 皇太子殿下の御聖學 (二男)

二十六 皇太子殿下の御聖學 (二女)

二十七年 皇太子殿下の御聖學 (二男)

二十八年 皇太子殿下の御聖學 (二女)

二十九年 皇太子殿下の御聖學 (二男)

三十年 皇太子殿下の御聖學 (二女)



六 日(木)職員會  
 八 日(土)休操實地授業  
 十三日(月)御影室掃除  
 十七日(月)御影室掃除  
 十八日(火)御影室掃除  
 二十日(木)職員會  
 二十四日(月)御影室掃除  
 二十五日(火)成績批評會  
 二十六日(水)同上

(教科)校長曰教科發展は教員其人を得て始めて之を企つるを得べく教員として長所を發揮せしむるの点より考へても同一の教科にのみ固定するは不得策あり本校の既往には國語算術等に大に特徴を發揮したるも目下は体操理科に於て尤力を注ぎ居れり理科の教員は近頃移動したるを以て持續し得るか否かを保し難し体操は伊達訓導を中心として數名の同趣味のものあり相應の成績をも擧げ得て當局者は縣下第二の評を下せり云々一行は伊達訓導(洋造)の高二体操教授の實地を見たるが教員の示範生徒の爲す所共に校長の言に違はざりしを認む氏は年齢二十二才双三郎三良坂の出身にて大正九年三月師範學校二部卒業なりオリソピック競技に於

て五千メートル駈足のレコードを作りし人にて毎日五千メートルを走らざれば精神に不快を覺ゆる位なりといふ

(別に水野寅一氏立案の校技藝濠戰と稱する競技をも一覽せり組織簡單にして職員悉く活動し得るの特徵あり大正三年より之を行ひ今や吳市中の兒童は家庭に於ても常に之を行ふを樂みとすといふ

高等科女子に對しては教科書外に女子習字の手引と稱する書方平本を編纂し中村春堂の書にして之を出版し各生徒に購入せしめて教科書と併用し居れり

裁縫は體原式を採用し居れり

校長曰明年より社會科も名付くべき教材方面の教授を試みたり又現在の日本歴史は日本の材料のみにて不備なり國民思想の確立には西洋歴史の主要を知らしむる必要あるを以て後日計畫する考なり

(特別編制)本校には中等教育進學生のみを以て編制せる特別學級あり校長曰嘗ては劣等生ばかりを以て一學級を編制せしこともあり優等生のみを一室に集めしこともあり又落第生のみを集め一學級二十人位に止めて頗力を入れしこともありされば要するに如何なる編制にしても教師其人を得るを先にす若適任者を得ざらん

か普通編制によるを尤も安全なりとす

(父兄後援會)父兄に於て後援會を組織して事業を助く兒童一人に付毎月七錢五厘宛の募金にして一年に一千四百圓を得これにて諸般の奨励をなすの便あり體原式裁縫研究のために女教員を出張せしめたる經費も父兄會之を負擔せりといふ

(統一)校長曰く予本校に於て三度方針を改め今に各人の自由を認むるも元來學校は一の社會なり社會には或統一を要すこの統一につきて予自ら之に任じて決して放棄ならしむることなし

校長又曰く以前は學校に子弟教育の任務を全部引受たり四五年前までは學校と父兄と連絡分擔の時代なり然に今は然らずして吾人社會の組織を主とせざるべからざるの時代にて教育亦然らざるべからず家庭は一種の社會なり家長之を統ふ我々は一の家庭即社會たらしめて餘り學校らしくせざるを理想とす各學年に主任を置き予之を統理するは社會組織に統一あると一ありと(厚情會)教員は毎月金三十錢宛を出費して茶話會を開き又時々宴會を開く

毎土曜日には教員一同運動を試む其ために土曜日には教授時數を四時とし木曜日に六時間授業す

教員は腰紅白に分れてテニス大會を開く

(雜)毎週金曜日に教員の研究發表をなす文檢應試の入校中に多し

女兒童の服装は今夏より洋服式による上衣にツロースを添へ夏服一着の仕立約五圓なり

(一般)校長 若林馨 月俸一三三圓 一四三四

本校在勤 四年二ヶ月

(生徒男)一九四人 女一八八人 計二三八三人

教員俸給平均額 三七、七六 小學校

職員全部正教員なり

(教育概要) 鞏固なる意志 堅固なる習慣

自學指導、反復練習、社會化、生活化

體育 細心なる養護、學校体操徹底運動、衝動善導、鍛鍊運動の奨励

(學級編制) 地方別

(教員分掌) 學藝部、體育部、社會部に分つ

(職員向上)

教科研究會



研究教授... 全學年研究會... 任意研究

(父兄會)年三回總會を開く... 會費兒童一人毎月二錢

(行事)毎週の六日を左の如く引當つ... 打合日

運動日... 研究日... 一 日

(同學年の横の打合上主任を置き縦の連絡上毎月主任會二回)

(事情)校長曰く我校の通學區域には海軍將校甚多く佐官以上のもの三百名下士以上のもの五百名將官級のものだけにて八人あり

(海軍將校は比較的に兒童に愛着心強く其夫人中には女子大學出身にても四人、女子高等師範出身三人もある

の有機にて家庭の教育思想甚高く教員がこれと相對して卑下縮退するの恐なきかといふことが何となく氣遣はるる問題なりされども實際は之に反して教員の教權は漸次高まり彼の海軍將校の私設を以て有名なる淡水學校も遂に之を閉じて子弟は悉く我校に通ふに至れり要するに教育書につきての研究は未實現せるものにあらず教育は人格的なり総合的なりこれに任ずる教師が教育學者以外に尊重の價値あるは言を待たず我校の教師は此の点に於て忠實なる特徴を發揮し一面研究も怠らざるが故に本年の如きも文檢出願教員三名ありて内二人は豫備試験に合格し居れり云々

(一般)校長 友末亮作 (四級上俸) 本校在勤四年  
(生徒數) 男七五一 女子六八三 計一四三四  
(十八學級(尋十二、高六))  
(村内には外に猶三尋常校あり)  
教員數 男十三人 女七人  
教員俸給平均額 四九四二  
(經營)校長は在勤中の事業を三期に分て  
第一期 教授法研究時代

主として行ひたる事項

(一) 各科批評教授及批評會

校長巡視共同研究

教科主任研究發表

第二期 整理充實時代

主として行ひたる事項

自學態度の養成

個別教育

各種調査の整理統一

第三期 特殊時代

体育につきて特殊研究

教員の趣味による自由研究

(兒童心得)

一、勅語詔書及師訓敬重

二、心身を鍛ひ學業精勵

三、自ら爲して他人に依らず

四、全身の勇氣と忍耐して事をなす

五、正直質素

六、時間を嚴守し規律的

七、言語容儀を正す

八、長上を敬ひ幼弱を愛す

(九) 公共の規約を重んじ公益を計る

一〇、常に本分を盡せ

(行事例)十月一日 徒歩選手商業學校派遣

五日(水)職員運動日

六 日(木)兒童容儀檢閲

七日 日(金)同學年會

八 日(土)遊戯打合

九 日(日)月次練習會

十二日(水)運動會豫行演習

十八日(火)運動會

十九日(水)運動會批評會

廿五日(火)雜記帳檢閱 算、讀、綴

廿六日(水)職員運動日

廿七日(木)算術教力調査

廿八日(金)同學年打合

三十一日(月)青年團總會

(特徴)体操科の教授に於て成功し屢公開教授を開く体育方針に曰く

一、法令の精神体得

二、訓練教授の立脚地

三、体育趣味養成



4、体育思想の社會普及  
5、体育理論の學理的硏究  
6、永續主義

一行は尋六女 高二男の体操を參觀せり成績佳良と認む  
校内概して清潔法能く行き届けり各教室後方に塗板二板を釣り獨分制指導のみならず教員兒童共同して種々に活用するの設あるは便あり運動場掲示塗板の活用亦宜しきを得たり

本校に於て學級要録は尊ぶべき一特徴といふべし兒童入學以來卒業までの學級經營及經過を一冊中に登載して前後の關係を明かにし附添するに左の諸表を以てす

兒童性行調査 成績概評 家庭調査 境遇調査  
出席統計 保護者出校録 發育狀況

就中性行調査につきては左の各欄につき記載連年其要を得たるを見る

性質 才幹 行爲 容儀 言語 嗜好 長所 短所

尾道市土堂尋常小學校

(一般)尾道市には尋常高等校一、尋常校四あり近來兒童増加のため何れの校も特別教室を有するものなし本校

兒童一千名 十八學級校長 宇都宮職

(兒童心得)正直にして父母教師の命令は必之を守り物事を爲すには自分の事は自分になし又何事も自ら進んで之を勵み成し遂げねば止まぬといふ強い氣風を持つべし

(特徴)特別學級は有せざるも新築の校にして能く整頓し教室内の設備は兒童の机腰掛に至るまで見事なり

二階に上る階段を階段式理科室、代用とをかし得る設備あり面白し

岡山市清輝尋常高等小學校  
(一般)校長 服部奎三郎 (三級十俸)

縣下邑久小學校に嘗て校長たり又久しく市内山下小學校にありしこと二十年近年當校に轉ずといふ邑久校内山下校共に縣内の優良校なり服部氏前任中の功績大に與るといふ

兒童數 男七八六 女六八六  
計一四四八人(二十四學級)

(校級訓)校訓 正直親切に元氣よく自分の務を盡し

天皇陛下の大御心に副ひ奉らんことを期すべし(級訓をこれに添ふ)

(朝會)1、毎月一日及毎月曜日の始業前に之を行ふ

(講堂)

職員兒童着席

敬禮

喇叭吹奏(國の鎮め)

皇室及神宮遙拜

學校長訓辭

敬禮

2、普通朝會を毎日(月曜以外)行ふ

職員兒童着席

敬禮

喇叭吹奏(君が代)

御影奉安所に敬禮

校長訓辭

兒童總代誓約

敬禮

(年中訓話)特別朝會を開き之を行ふ

四月十二日 昭憲皇太后

四月廿九日 皇太子殿下の御美徳

六月廿五日 皇后陛下の御聖徳

七月三十日 明治天皇御聖徳

九月十三日 乃木大將の誠忠

十一月三日 立太子式記念及明治天皇

十一月十日 御即位大禮

三月十四日 五ヶ條御誓文

三月廿三日 小學校教育に關する件

(入學兒)四月新入學幼兒に對して個性調査をなすこと左の如し

1、幼稚園入否

2、日常智識

兒童氏名(口答)

兒童氏名(同) 上(三ッ確答)

同(同) 中(二ッ)

同(同) 下(其他)

計算力(廿迄唱方)

上(廿まで) 中(十まで) 下(其他)

3、官感覺器

眼(視力) 正、遠、近

耳(聽力) 正、否

鼻(鼻汁) 有、無

舌(言語) 明否、遲速、訛、吃等



5、風貌 上、中、下  
 6、性質 オトナシイ、サトイ、ゲンキ  
 ウチキ、アバレル、オコル  
 カウコヤウ、ニブイ、其他クセ  
 上、中、下  
 7、身体 強、中、弱  
 8、家庭父母、兄弟姉妹の有無性行職業  
 (郷土地歴) 修學旅行の赴き得る範圍の郷土地歴材料を調査して教授準備に應ずるものあり好編纂なり題目を記す

岡山市  
 沿革、教育、岡山城・藩學校・後樂園・神社・佛閣・歴史的人物(池田光政・蕃山了介・津田永忠)  
 兒島郡  
 沿革、宇野港・下津井港・藤田・開墾地・味野町及鹽田・藤戸・常山城址・金甲山・瑜伽山  
 七道郡  
 位置・面積・地形・沿革・交通・岩間櫻・藤本鐵石記念碑・巨勢金岡墳墓・同筆洗井・龍駕駐驛記念碑・御駐驛記念碑・大多羅山反射爐・龍の口城址・妙禪寺城址(附首塚)・龜山城址・五木山城址・西大寺町・金陵山・西大寺・護國山曹源寺

御津郡  
 沿革・吉備津彦神社・富山城址・篠ヶ迫城址・辛川金山寺・金山・第十七師團兵營・備作惠濟會・岡山縣立種蓄場  
 吉備郡  
 吉備津神社・妙教寺・高松城址  
 (理科設備) 本校は校舎一般の設備及整頓能く到れる中に理科設備尤も見ゆべし理科室・器械室共に華美を避くると共に新式の用具によりて窓の開閉・幕の引き除き等悉く理科的に研究注目の材料たるを得べからしむ植物園の配置・場所の利用・分類・趣味の養成等亦大に見るに足る  
 (一時開寫生圖書) これは本校の一特徴にして其の中心となり又實力あるは校長其人なり校長の圖書意見に曰く圖書科に於ては素より美想腦力も必要なれども發表能力を主眼とすべし小學校に於ては藝術教育のみならずして生活に資すること亦重要なり隨て發表能力は速かなるべく教授時間も亦僅少なり是に於て一時間寫生の組織を企て能く物の主眼点を見て他を省察するに長せしめ軍筆に於ても不必要の上塗を禁止用具等は成るべく輕便にして尋四以上には總て寫生のみをなさしむ

最初は色鉛筆により漸次毛筆にて繪具を用ひしむと又曰く近頃流行の自由畫は決して不可ならずされども幼稚園的の圖畫は小學校に課すべきものにあらず徒に兒童の錯覺のみを發揮して何の益かある宜しく基礎を寫生に置くべしと  
 一行親しく兒童の成績物につきて之を激するに特に一時間に與れるの結果夫作逸品は多く見受けざるも各生全般に實力寫生の能力は大に之を會得し描畫慨して巧なること歎賞せざるを得ず  
 (教育研究會) 校の職員全部を以て組織し各教科に研究主任を置き教員これに分屬す  
 更に研究部審査部を置き研究主任其の事務に分ち任ず研究部は教育上の問題につきて研究調査を遂げ審査部は之を精査して實施上の案を加へ校長に申告す  
 定日を設けて研究教授あり  
 外に左のことを行ふ  
 圖書共同購讀 參觀報告 講習報告  
 (自習心得) 兒童に對して自習心得を定め復習豫習につき常に標準を知らしむ多少機械的に流るるの嫌はあるも中等以下の兒童には便ならん

復習	修身	1 其日習ひしことを思ひかへす 2 一課すんだなら本を讀む 3 格言を習つたら暗記する	1 讀めない文字を書きぬく 2 意味のわからない語を書きぬく 3 大体どんなことが書いてあるかを考へて見る
	續方	1 通讀 2 要項の抽出 3 語句の吟味 4 漢字の書取 5 短文練習 6 短文練習	1 算術復習帳に要点を書ぬく 2 應用問題の必要なるものは解説する 3 問題式題を自ら作り練習する
豫習	算術	1 本をよむ 2 本と地圖とを引合せ 3 地圖を見考へ後本にいつて見る 4 習圖を書いて記入する	1 本をよむ 2 本と地圖とを引合せ 3 本と地圖とを引合せ 4 本と地圖とを引合せ
	地理	1 本をよむ 2 本と地圖とを引合せ 3 地圖を見考へ後本にいつて見る 4 習圖を書いて記入する	1 本をよむ 2 本と地圖とを引合せ 3 本と地圖とを引合せ 4 本と地圖とを引合せ



歴史	1 本をよむ 2 本をみないで大要を話してみる	1 本をよむ 2 如何なる事が書いてあるかを考へてみる 3 原因結果の關係を考へる 4 年代表系圖表によつて引き合せる
理科	1 筆記帳をよむ 2 實驗又は觀察したることを思ひかへす 3 筆記帳をみないでいづつみる 4 實驗の出来たるものを見てみる 5 觀察した大切な部分に客観にあらはし各部分の名稱を記入する	1 時により實物を觀察して来る 2 觀察せし要点を記録し置く

關山縣邑久郡邑久高等小學校

(一般)本校は修業年限三ヶ年(但女子二年)の組合立高等小學校なり明治十八年二月の創建にて當時は全部各町村の組合立なりしが十九年二月南部各村分離七十二年北部亦組合を解きしが二十三年三月再び北部の聯合組合を以て之を設く今は八ヶ村聯合の組合立にして區域内に八箇の尋常小學校を有す

校長奥田真須二(明治三十二年十月より勤続)  
児童數男三三二 女一九三 計五二五人

十學級に編制す

教員數十四人

出席歩合 九六、一八

兒童一人當り教育費九圓八一四

(年間行事)前年度功程に據る

- 四月一日 新學年開校式
- 四月十一日 昭憲皇太后御陵遙拜式
- 四月十二日 農業實習地職員區設定
- 四月十八日 級長、組長、看護生任命
- 四月廿二日 柔道稽古開始
- 五月十日 三年生宿泊修學旅行
- 五月十四日 下級生其日歸り修學旅行
- 八月十日 水泳會開始七月三十日桃山御陵遙拜式
- 八月廿一日 學藝會
- 十月十三日 運動會
- 十月三十日 勅語下賜記念式
- 十二月七日 試食會
- 十二月十五日 義士會
- 一月二日 同窓會
- 一月十七日 武道寒稽古開始
- 一月廿三日 全生徒兔狩

二月十一日 寒稽古納會  
二月二十六日 學校記念式

三月七日 珠算競技會

三月八日 男兒童保護者會及成績品展覽會

三月二十日 職員生徒強行軍

三月廿六日 卒業式

(特徵)戸山學校式体操を中心として訓練を行ひ成績顯著なり訓導今田幸男大正五年三月以來の就任にて熱心に体操科中心として從事す

本校は近來体操科の成績優良なるを以て鳴り内容方針等は能く周知され居る所なれば爰に略々するを用ひま一行は主として其の体操教授の實際を知るに努むる所あり尋二、尋三、尋四、尋五、高一、高二の諸學年に涉りて實施教授を參觀せり所感左の如し

- 1、前任校長の移動により世人をしてこの校体操科の退歩することなきかを憂ひしめしが幸にして其ことなし
- 2、一般平均的に何れの組も体操成績良好なり一行の觀たる中にて高一女の成績尤も宜しかりしを思ふ

3、低學年に對しても相應に嚴密なる体操科を課し得るの實例をみたり

4、直線運動と曲線運動、体操と遊戯との調和緩急宜しきを得たるを認め

5、大部分は一時限を三十分とし毎日体操を課するの制なり

(一般)校長辻安次郎(俸給一〇〇圓)副校長岡田百六十四(俸給四十五圓)

明治四十四年九月より本校在職

明治元年十二月生れ

教員在職三十四年六ヶ月

豊肥團滿の人物毎週授業八時

本校は香川縣内第一の大校にして一町一校の制なること茲町明倫校に類似す

所在地觀音寺町戸數二八二〇

本校児童數男一〇二〇 女九九一 計二〇一一人

全校經費二七三〇、二四〇

教員總平均俸給四九、五七二

試に全校教員の俸給を録せんか次の如し



ABUGUNPO

男子には裸体を許し女生には帯をゆるめしむ  
 八月一日より毎年三十日間開設す  
 七月二十七日までに申込をなさしむ  
 行事  
 朝禮式午前八時  
 訓話主として衛生体育深呼吸約五分間式  
 裸体体操二十分  
 休憩二十分  
 復習九時より十時まで  
 海水浴三十五分間  
 入浴  
 費食午前十一時より十二時  
 校丁之を炊ぐ児童一人につき  
 米一合四勺  
 安静娛樂〇時より午後一時海水浴及入浴一  
 時より二時  
 唱歌  
 体操及事由遊戯午後後は束縛せず  
 散歩  
 讀物  
 以上午後二時より四時まで

ABUGUNPO

毎週一回放課後に同學年研究教授  
 毎月一回始業前に全校研究教授  
 毎月一回組長會  
 毎週一回學級自治會  
 校長は毎週順次に學級體育研究考查を命ず  
 校長は毎週順次に學級唱歌研究考查を命ず  
 各學級は毎週順次各學科成績考查  
 (分掌)左の諸係を置く  
 圖書係 庶務係 式場係  
 衛生係 統計係 校具係  
 貯金係 總務係  
 學校新聞係  
 (林間學校)これ本校の一特徴なり其の概況左の如し  
 (一)町内翠川公園内林間に約縦四十間横四十間即百六十  
 坪の地を劃し周圍に幕を張りて其の場とす  
 一面に藎を敷き机腰掛に並ぶ生徒各自携帶の毛布を  
 之に敷く  
 事務室は公園内の亭を使用す  
 炊事場は小學校内に設く  
 海水浴場に端艇を置く  
 場内に黑板樂器あり

兒童の朝間食談話會  
 兒童の朝間食談話會の實行  
 了りて自宅に歸り翌朝又集らしむ  
 兒童心得  
 金錢を持つべからず  
 自ら間食物を持つべからず  
 辨當を自ら持ち來るべからず  
 慰問者の個人寄贈を受けず  
 服装を身輕にす  
 往復途中の風儀を謹む  
 歸宅後は飲食を慎み夏祭の夜参り間食を制  
 費二四五十錢  
 入學につきては當初は學年を限らず虚弱の生徒を募り  
 しが今は尋一より尋三までの低學年に止め例外として  
 特に希望のものには尋四以上をも加ふ  
 大正二年より旅行し來れるが二年度は七十二名、三年  
 には六十二名、四年には六十七名、五年には七十七名  
 六年には百五名といふ風に次第に増加し今年は定員  
 百名に對し二百名以上の申込あり  
 加入生は之を二學級に編制す



これが効果を聞くに當町は市街にして体力薄弱生多く就中胸圍狭き傾向あるに其れが著く發育し又三年位加入を繼續すれば大抵の腦患は全治するが如く内務省に於ては國民体力の改善上大に之を推奨し愛媛縣今治に於て本校の制を移し行ひしより近來愛媛縣方面に盛行はる

發育増加例(大正五年度) 男 身長 四四分九厘 胸圍 四十七分七厘 体重 二百二十斤

女 身長 四四分八厘 胸圍 四十七分七厘 体重 二百二十斤

疾病治療例(大正六年度) 頭痛全治 三人 胸痛全治 三人 心悸亢進全治 二人 腹痛全治 一人 感冒性全治 一人 心臟輕快 一人

雨天の日に止むを得ず學校に會すといふ(教育中心懇談會)當町は多年政争上の競争より議員區長の

の選舉戸數割稅の附加等に常に紛争絶えず爲に商工業の發達にまで支障する位なりしが校長は深く感ずる所あり大に其の不可を説き寧之と論議するの餘暇あらば教育問題を攻究せられたしと力説の結果今や特に教育を中心とするの町是を定め苟も町内に於て長と呼べるものは悉く教育中心懇談會の會員となることとなり毎年一回會員全部會同して懇親會を開き席上有志に於て十分間談話等をなし以て町の教育につき發展を計り併せて町内要樞の懇親を結ぶに至り近來町内頗平和となり商工業につきても町内提携發展の曙光を見るに至れり

廣島高等師範學校附屬小學校

(一般)佐藤主事の國語總復習教授及相澤訓導の算術、三浦訓導の國語等の教授及び歴史、唱歌、書方等に涉りて三四訓導の教授を參觀し得たるが教式及び兒童自學の態度共同研究の善用につき地方小學の改善すべき所少からざるを認む

(睡眠教育)これ本校が研究要録の第二巻として本年四月に之を發表し家庭へ學校へ寄宿舎へとして出版提供せられたるものなり必要の書と認め次に題目を掲ぐ  
兒童の睡眠時間の標準○兒童の睡眠時間の實際○季

節と睡眠時間○性と睡眠時間○睡眠の個人的差異○知能と睡眠との關係○睡眠の深さ○睡眠と能率○睡眠と身体の發育、以上の約結○睡眠中の生理的機能○睡眠と意識○疲労と睡眠○睡眠と寢食○就眠の時刻○學校の始業時刻○家庭課業○睡眠の教育○睡眠の原因

(一般)校長 坂田軍一 山口縣玖珂郡人

就學歩合(高女)九七、一八

十四學級に編制す(七百三十五人)

俸給平均額四一、四四九

(校務)左の各係に分掌す

總務、教務、研究修養、体育、記録、統計、公文書  
入退學、表簿、圖書、理科室、家事室、裁縫作法具  
整理、請求、消耗品、職員、雜務、校友  
總務係取扱事務内容左の如し

- 一、各係の事務の進捗を計ること
- 二、執務分擔を定むること
- 一、補缺授業のこと
- 一、引繼事務のこと
- 一、行事表作製のこと

一、文書の處理發送のこと  
一、使丁給仕の指導のこと  
一、儀式集會のこと  
一、稟議の件  
一、學級編制  
一、卒業業  
一、級長制度  
一、修學旅行  
一、兒童成績品  
一、兒童賞罰  
一、學年主任事務  
一、學級主任事務  
一、教科研究主任事務  
一、調査會事務  
一、交代任務

廣島縣嚴島町立嚴島尋常高等小學校

(一般)校長 吉光昇 赴任後三年  
外國語に通じ渡米せし人なり  
兒童數 六百九十八人 十四學級  
教員數は十六人 専科は手工科教育費一萬九千四百圓  
俸給平均額七十圓



本校教員は師範卒業中の優等生を集り毎年必一級は増  
俸を例とす

(行事)十月行事を以て例とし示す

- 三日 職員作業
- 四日 体操研究協議
- 五日 友長會
- 十三日 記念講話(校長)
- 二十一日 職員會
- 二十七日 大掃除
- 二十九日 勅語講話(訓導)
- 毎週月曜日 校歌練習

(方針)自力主義自爲自頼の精神

其の理由

- 1、實際上の要求(嚴島町として)
  - 2、哲學上の要求
  - 3、心理學上の要求
  - 4、教育學上の要求
- 右の結果として
- 教授上 自發活動を重んず
  - 訓練上 自治を重んず
  - 養護上 鍛練的積極的

(藝術教育)本校の特徴は技能科と藝術とにあるが如く技能科として手工、圖畫の専科教員を置き又唱歌科につきて優良の成績を有す

唱歌科の延長として學校劇を計畫し唱歌科につきては唱へさすよりも味はすことに重きを置くといふが如き(藝術趣味喚起を欲するの一端を卜すべし校長曰從來の教育は兒童を藝術より繩張せり今後は之を味はす必要ありと交す)

今年開催の學校劇につきて之を開くに學校に於て脚本を作り嚴島戰爭(特に五幕に及ぶ)浦島太郎三種神器の由來、天の岩戸等其の一例にして午後二時より夜六時までを一回、午後七時より十時までを一回として一日に二回行ひ保護者を二回に分ちて案内し觀覽せしめて盛況を極めたり場所は劇場に於てし三原師範校生徒は態々全部來觀せり

(經費の特徴)本校の教員旅費額と支出方法とは縣下第一と稱せらるる旅費は全体にて一千四百六十圓六十錢あり内三百圓六十錢を新任轉任旅費とし一般學事視察費を五百四十圓とし各教員に野し一年に一度は視察に出でしむ而教員の研究旅行を主とし必しも學校視察をなすを要せず視察報告などは更に之を徵せず又教員學術研

究旅費二百圓を置き一人百圓宛三人を各一ヶ月間派出して自己の欲する所に就き研究する所あらしむ

圖書費につきても特徴あり備品費千圓の内六百五十圓を圖書費とし其中につき教員一人に對し一ヶ年六圓は教員任意の書を購ひ之を獨占するを得しめ以て研究を資く

補習學校、青年團、處女會、婦人會、少年團

吳市立工業補習學校

吳高等小學校に附設す六學級あり田中教授を特徴とす

向島歌浦婦人會

向島西尋常高等小學校に附設す普通會員として處女八十人特別會員として有夫二十人あり年四五回會合して料理簡易なる造化、摘細工等を講習す毎回体育會を加ふるを特徴とし旗取徒競争デットボールなど簡單なるもの行はる

向島西青年團

總團員約五百人を四支部に分つ會合に當りては五分間演說、体育會等を愛好す會合定日は毎月十五日なり之を修養會と名く又屢臨時夜間講習會を開く

附一

吳市立工業補習學校

向島西小學校附設の校なり一ヶ年程度にて毎週三回夜間に行ひ養蠶期には休業す教師三人小學校より兼務す毎年成るべく教材を改むるを以て同一青年にして屢入學す柔道紫劍の教練別に交替出席す

岡山市立商業補習學校  
市内清輝出石局東の三校に附設す毎夜午後七時より九時まで通年の教授をなすこと二年にて卒業す専科教員一人を置く(其教育は晝は正午迄出校し居るのみ)卒業後市立商業學校の補習科に入り得るの制あり當校は通科制にて商業學校の補習科は學科制即希望學科のみを修め得るの制なり

久米土曜學校  
(一般)岡山縣邑久郡邑久村邑久小學校に附設し左の諸点を特色とす

内容上 一月三十日大典禮あり  
勤儉倹信の實踐躬行の活學問の指導の健全なる農國民の養成  
奮闘自研の修養  
農村中堅青年の養成  
形式上 一星  
每週土曜日に日中六時間教授す



(教科)毎週教授時數

修身一時 國語漢文二時 數學一時 農業二時 數學は初年級珠算にして高學年に至るに伴ひ代數幾何農業簿記農業測量あり

(學費)授業料年額一圓

(編制)本科四ヶ年 研究科三ヶ年

(教師)校長奥田真須二自ら修身國漢、數學の教授を擔任す外に小學校より兼務のもの本科七人専科三人あり

(現在生徒)一學年一〇〇人 二學年 六二人 三學年 四四 四學年 六三

研究科 六一 計三百三十人

(卒業生)

卒業生を出せしこと八十五人の狀況

農業従事 六二人

兵籍にあるもの 一六

官吏 三

會社員 三

死亡 一

(通學)生徒は郡内十八ヶ付及び郡外は三郡に涉り通學區域左の如く遠距離者は自轉車にて來往す 半里以下三一人 半里以上七四

一里以上七七

二里以上六五 三里以上四

平均一里六

(沿革)大正三年九月五日邑久高等小學校同窓會の事業として創立し生徒僅に二十六人なりしが漸次生徒數増加し大正四年十一月三十日御大典記念として私立學校の認可を得同窓會より分離せり大正八年二月十一日岡山縣知事より補習教育の成績優良を以て表彰せらる

(經費)設立當初は何等經費の收入なく悉く校長の自費を以て支へたり生徒の増加に連れ關係町村より毎年十圓の補助をなし(總高)後五十圓に増額せしが今年より縣補助年額四百五十圓郡より二百圓組合村より百二十圓の補助あり之に加ふるに生徒の懇望により近來授業料を徴するに至りしを以て約一千圓の總收入を見るに至りたり

近年までは教師にも手當を給する餘地なかりしが漸次之を給し猶今後收入の若干を貯へて將來校舍を建てんとす

(研究)毎年夏期農閑の際に連續五日乃至七日講習會を開く大正九年第六回講習會内容左の如し

農學博士 近藤万太郎

食糧問題 農學士 長田 一郎

電燈の話 三十一工學士 三宅 豊

國勢調査 郡視學 石原 猛男

青年心理 百三十五 校長

兵式教練 土曜學校教師 今田 力治

自研會を組織し文藝部、体育部、辯論部、圖書部、獎

農部、庶務部に分れて活動自研會 毎月一回研究課題あり大正九年以來の課題左の如し

アモクランシ 國勢調査

青年團改善策 町村會議員級制廢止の可否

農村的娛樂 農村的娛樂

町村會議員級制廢止の可否

競算會と競書會

向上日誌

徹夜會

農業實習

學校實習地、家庭實習地の二とし設計書を作り

一 行はしむ

共同貯金

家庭實習地生産物品評會を毎年一回開催し生徒八別より米一俵を出品せしめ終了後共同販賣に附して代金を各自の共同貯金とす

大正九年度末現在左の如し

總額 六、四七〇圓三八〇

人員 一八二人

一人平均 三五、八八一

毎年春秋二回近縣見學旅行をなし又卒業記念には教師生徒一團となりて伊勢參宮をなし共に協同貯金より支出す

(難)勸誘せずして盛に入學志願者あり○風儀極めて宜し

○生徒中には従業者多きも授業日には風雨寒暑を勞とせず契約者(傭主)の許可を得て能く出席歩合約八〇%

となり

(附記)邑久村は村落としては比較的に向學心盛に名士を多く出したる村なるが如し

上笠居處 女會

香川縣香川郡鬼無なる上笠居處に附設す村内を七支部に分ち從來中心集中制なりしを政め去年以來支部の活動に



任せて以來好成績なり處女會と稱するも會員年齒には制限なし名望家の妻女皆加入周旋す本部へは年三回全會員を寄せ總會を開く支部會合は屢行はれ大抵毎月定日あり又臨時に紋染按摩術、料理、生花等を講習したるものあり

常盤青年團

三豊郡(香川縣)常盤村にあり夜學成績優良なるを以て縣より表彰せらる就きて見るに組織大畧山口縣に類す

香川縣三豊郡觀音寺町立小學校に附設す  
明治三十二年の創立にして從來學年制半年の授業なりしが經驗の結果大正四年より改めて學科制通年の授業に改めたり

教科は修身、國語、漢文、數學、英語、商業、農業とし毎年二科を修業するものとし一年級より八年級に至る目下十九學級にして教員二十名あり  
毎週教授時數十二時以内夜間なり本年度經費左の如し  
總額二千五百三十九圓

- 專任月俸 三十五圓
- 臨時手當 七割

兼任年手當 六十圓  
生徒現在六百五十八にて出席約五百人乃至六百人なり

觀音寺町少年團

觀音寺小學校に附設し小學校尋常科第五學年以上の男子

（宣誓文）一、忠孝節義は我等の生命なり

一、同胞相愛は我等の血液なり

我等は勅語の御趣旨を奉体して日本男兒の面目を

發揮すべし

（事業）一、毎年一回總會を開く

一、毎月一回通常會を開く

一、復習會を開く

一、體育運動を興隆す

一、貯金を奨励す

一、夏季水泳會を開く

一、見學旅行をなす

一、參拜展墓をなす

一、講演會を開く

一、談話會を開く

一、信號演習を行ふ

一、救急法の實習

嚴島同窓會

廣島縣嚴島町小學校に附設す毎年十月一日に其年三月卒業者の卒業後半年間の素行其他を見て小學在學の尋四以上生徒に前記卒業生中につき同窓會世話掛三名を投票選出せしむるの制あり

右投票に當りたるもの連年中堅となりて能く會の發展を計り母校との情誼を失はず

前任校長清廉有徳の人なれども財政に拙く轉任に當り一千圓の負債あり同窓生これに同情し一千七百五十圓を募

金して贈呈せり本年の運動會に同窓會員の周旋にて寄贈金二百四十圓を持來りこれ母校に對する一例なり

補習教育、壯丁教育、貯蓄街路修理、街燈設置、栽樹講演會の開催及素撲堅實なるを以て明治四十二年に郡より

明治四十三年に縣より表彰せられ爾來優良の成績あり

諸學校諸團體、工場

岡山縣に於て縣内各郡に對し社會教育事業の施設經營に關する希望を集めたるもの中著きもの左の如し

一、兒童の出席獎勵  
一、神社佛閣の掃除  
一、一日一善の實行  
一、偉人祭  
一、記念日講演  
一、善行者表彰  
一、其他社會奉仕事業

（目的）人格の向上を計り青年團及補習學校の健全なる發達を伊勢神宮に誓ふにあり

（組織）左の二部に分つ

第一部 觀音寺町青年團及補習學校生徒

第二部 觀音寺町在住の有志

（義務）毎月郵便貯金壹圓を貯金す○青年團及補習學校の發展を計る

（事業）毎月第三日曜日を例會とし名士の講演を聴き貯金

取纏及庶務協議をなす

毎月第四日曜日に役員會

毎年一回總會

三年毎に伊勢參宮

貯金利子は氏神琴引八幡宮の基本財産に寄附す



備ありたし  
一、縣郡の社會教育主事を縣費にて置き官制を公布せられたし

一、社會教育施設要項を具体的に示されたし

一、社會教育講演資料を配られたし

一、宗教家を活動せしめられたし

一、縣立教育博物館を設けられたし

一、忠孝思想の徹底を期せられたし

一、簡易博覽會を設け縣下を巡回せしめられたし

一、思想善導講演會を開かれたし

一、青年讀物に對し相當機關を設け調査研究の上發表ありたし

(自前) 〇育英事業

香川縣につき調査するに高松市に私立法人にて香川縣育英會あり有志の寄附にて三十万圓の基本金を有し高等教育を補助す創立は明治十五年にあり

最近に小豆郡造船業成功者川田氏の寄附十萬圓を以て組織せる獎學法人團あり主として船員を養成す

三豊高等女學校

香川縣三豊郡立にして觀音寺町にあり明治四十年に創設し高等女學校令の實科制は本校の實際によりて立案せら

れたるものといひ加ふるに校長石井朝太郎氏學德兼備り極めて周密に施設を定め生徒を愛する慈母の如く生徒の身上につき救濟事項を秘記して身を離さず以て救濟に腐心する等人をして感泣せしむるものあり參觀して諸方面に小學教育にも參考すべき所多きを見る  
諸調査中家庭教育の概況につき調査したるものあり參考となすべし

家庭教育概況

教育 夏休中家庭にて賞賛されし事項 百分比

父母に孝	一二	二、六七
兄弟に友	一二	二、六七
夫婦相和	〇	〇
明友相信	〇	〇
恭儉持己	一五六	三、四、六六
博愛及衆	〇	〇
修學習業	二七〇	六〇、〇〇
公益を廣	〇	〇
め世務を	〇	〇
開く	〇	〇
國憲國法	〇	〇
を重んず	〇	〇

義勇奉公

校長曰く右は皆て全生徒として夏季休業中に勸語各條の躬行に努力せしめ父兄の目に觸れて賞賛されしを調査せしなり其度數多きは比較的に家庭に於て父兄が教養に心掛け居れる方面にて其數の皆無なるは多少生徒實行の動機少かりしにも基因すべきも半面には父兄の思想此處に到らず家庭教育の缺陷と認むべきものあるが如しと

邑久實科高等女學校

岡山縣邑久村小學校に附設し奥田小學校長これが校長たり小學教育従事者の經營として見るべき点少からず新築の家事室一見の價値あり小學校と連絡共存し頗る經濟的に行はるるを尤宜しとす

都村有爲堂

香川縣琴平町にあり体操器具の製作を以て知られ工場を一覽するに左記各部に分業して四十三人の作業者を使用し尤も材料を精選し製作するを以て本堂の作品は多少高價の傾あるも永年の用には堪へて却て經濟的なるが如し

- 木工部 鍛工部 汽罐部 塗上部
- 玉切部 バック部 製材部 器械部
- 荷造部 雜務部

海軍兵器廠(吳)

吳海軍工廠は左の各部に分る

吳海軍工廠は左の各部に分る  
〇水雷、銃砲、製鋼、製造、造器  
前三者は一般人に觀覽を許されず造船渠につき一言せんに舊式船渠は地平上に之を設け滑走によりて進水せしめたるを以て造船材料を高く釣り上げるに努力を消費し進水滑走だけでも塗油費壹萬圓を要する等不經濟なるを以て別に新式船渠あり是は地平下設備にして入り込み二町半容水量十萬噸に及び長門艦までは此處にて建造せり但目下此船渠にて建造中の巡洋戰艦赤城は更に偉大の設計なるを以て一方には更に船渠の擴張をなしつつあり

海兵團の任務左の如し

- 〇新兵訓練
- 〇軍港保護
- 〇軍艦兵員補充

一行は特務少尉村井愷吉、同橋本金樞二氏の好意を大に蒙る所あり二氏共に海兵團附なり

江田島海軍兵學校  
海軍兵學校は明治二年九月十八日創設の海軍操練所に起り當初東京にあり明治九年八月今稱に改め明治二十一年八月江田島に移る



現在生一年二七九人二年生三〇一人三年生二七四人あり  
各十八分隊に分つ職員七十九人  
開校以來御在學おらせられし皇族

華頂宮經親王  
有栖川宮威仁親王  
小松宮依仁親王  
山階宮菊麿王  
華頂宮博恭王  
有栖川宮載仁王  
北白川宮輝久王  
伏見宮博義王  
山階宮武彦王  
華頂宮博忠王  
久邇宮朝融王  
目下御在學に第三皇子高松宮宣仁親王殿下及東伏見宮博  
信王殿下あり  
一行は生徒監丹生海軍中佐及山口縣長府出身の藤永中依  
の好意により大に觀覽の便を得多くの裨益ありたる中に  
特に著きもの左の如し  
高松宮及東伏見宮の御勉學の御模様を承りて  
東洋第一の大講堂につきて

諸分科教室設備につきて  
島津少佐の寄附(二万圓)にて建築されし生徒館なる  
養浩館につきて  
大講堂の額は依仁親王の御筆にて克忠克孝とあり  
又別額ありて曰智信仁勇殿  
養浩館正面に東郷大將の双幅を掲ぐ曰く  
○忠胆義心如鍊石  
○國史之光輝炳然如日星  
有名なる赤城艦長記念の海圖は今猶職員室入口の婿間に  
あり

結論

一覽能く其の實を知るは素より困難あるも少しく視察の  
結果を整理せんか觀る所の中に經營上の三代表あるを見  
る吳高等校の個人發揮主義を執りて能く統一せる邑久校  
の自信主義にして能く新思想を唱へせる嚴島校の藝術主

義にして能く確實なる根據に基ける是なり而三者共に極  
めて生氣あり徒に流行思潮を追ふ者と選を異にするは範  
とすへし  
德行に三豐女學校長を推し力行に邑久校長を推し思想に  
廣島高師附屬校の三浦訓導を推す皆就きて感化を蒙るに  
足る  
邑久校の土曜學校を折衷して我郡の夜學組織補習學校特  
別學級に晝間通學生を置き一週一日の日中教授制となす  
亦妙ならん  
嚴島校に於て唱歌教授中に歌ふことの延長として表情動  
作を加味する亦學びて悪しからず觀音寺校の林間學校は  
味ふべきの制なり  
体操科に於て多くを觀つ、直線的訓練と曲線的藝術と調  
和の程度を大に考慮すべく目的によりては二者場合を異  
にして之を發揮せしむるの必要と感ずるの時期に逢着す  
へしかを思はしむ十月十八日廣島市に於て觀たる聯合体  
操會は純前者にして嚴島の學校劇は純後者なり吳市の聯  
合体操會と香西校の体操教授とは二者の調和宜しきを得  
生徒の服裝問題につきては三縣概して我郡内程に熱中し  
居らず女教員問題思想問題亦然り

防長教育會貸費生

大正十年九月現在の調査に係る防長教育會貸費生及其の  
本籍、在學學校別現員を載録して參考に資す  
▼防長教育會貸費生 (大正十年九月現在)

學校	學科	學年	姓	名	本籍地
東大	獨法	三	岩重	隆治	大島郡日良居村
	政治	三	波多	敏夫	同郡森野村
	全	三	川本	健治	珂玖郡柳井町
	全	三	武田	寛一	熊毛郡室積町
	全	三	中村	敬之進	吉敷郡井關村
	全	三	桑原	五郎	同郡宮野村
	全	三	白根	秀輔	豊浦郡長府町
	全	三	森脇	要造	吉敷郡山口町
	全	三	清水	通夫	都濃郡久保村
	全	三	木村	久雄	豊浦郡清末村
	全	三	内藤	寛	熊毛郡平生町
	全	二	伊藤	久松	吉敷郡鑄錢司村
	全	二	原田	耕太郎	阿武郡萩町
	全	二	宮川	實	吉敷郡宮野村
	全	二	莊原	達	佐波郡串村
	全	二	山本	頼雄	大島郡安下庄町











合	廣	東	東	熊	廣	橫
計	許	高	高	大	大	大
	師	師	實	工	工	工
八	二	一	一	一	一	一
二	三	一	二	一	一	一
一	五	三	一	一	一	一
一	三	二	一	一	一	一
一	七	二	一	一	一	一
二	二	一	一	一	一	一
一	〇	一	一	一	一	一
一	一	二	一	一	一	一
三	二	一	一	一	一	一
四	一	一	一	一	一	一
一	二	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一
一	三	七	五	四	一	一

驅逐艦陽炎の經歷

驅逐艦陽炎は軍事思想鼓吹のため須佐村主催第二回本郡畜産共進會開期中關係者の懇請を容れ十月一日午前七時須佐港に其の偉容を現はし三日間一般の拜觀を許し本郡海軍思想の普及宣傳に努むる所ありしか左に同艦の經歷概要を録す

長さ	二一〇呎
巾	一九七呎
排水量	四〇〇噸

馬力 五五〇〇馬力 現在 二〇〇〇馬力  
 速力 三十節  
 大砲 八糎砲二門 六糎砲四門  
 發射管 四十五糎水上二門  
 製造所 英國ソルニクフット會社  
 進水年月日 明治三十二年八月  
 [註]日露戰爭常時の驅逐艦としては世界に於ても最新式にして目下我海軍に於ける羽風、灘風等に匹敵するものなり

抑も本艦は明治三十二年八月英京倫敦なる「ソルニクフット會社」に於て建造せられたるものにして船体悉く鋼を以て造られ排水量四百噸全長二百十呎速力三十節に達

明治三十三年四月横須賀に回航有らゆる兵裝竣工の上海軍大演習に参加して其の優秀なる性能を發揮し續て北清事變起るや直に太沽に急行聯合軍と策應して砲台を攻撃し大に清國軍艦を撃破し武威を輝すに至れり爾後遣外艦隊に編入せられて普く支那朝鮮沿岸の警備に任し常備艦隊となりて本邦沿岸に武技を練磨し演習に於て戦技に於て常に卓拔なる成績を收め帝國驅逐隊の精銳として益々其の眞價を發揚せり

明治三十七年二月日露風雲急を告ぐるや第二艦隊第五驅逐隊司令驅逐艦として直に韓國に急航大連灣内の索敵襲撃を開始し旅順港口閉鎖艦隊の前衛として灣口の哨戒に任し或は海洋島なる敵炭庫を占領し敵の通信所を破壊し或は港内に強行偵察を敢行し機雷を沈置して旅順港の直接封鎖を遂げ敵の旗艦「ビーター・パフ」を轟沈して「マカロフ」提督を屠りたる等功績枚擧するに遑あらず既にして旅順の敵を掃蕩するに及んで佐世保に回航必要なる修理を了して再び出征浦盤港外に機雷を沈置し續て鎮海灣に歸りて専ら武技の演練に努め彼の有名なる日本海々戦に於ては即ち艦隊戰闘なるに當り敵の猛射を冒して旗艦「スハロフ」に對し勇敢なる白晝攻撃を決行し日

没するに及んで艦隊戦と一先終りを告ぐるや脱兎の如く突進して敵艦隊を襲撃したり翌二十八日再び戦備を整へて鬱陵島に航行中敵驅逐艦二隻を發見追躡し其一隻を捕獲し敵の司令長官「ロゼストウエスキ」中将を擒にする等拔群の勳功を收むるを得たり近く日露戰役に於ては第二艦隊に編入せられて青島攻略に従事膠州灣の直接封鎖に任し功績頗る顯著なりき現に本艦士官室に掲ぐる東郷長官よりの感狀を寫して示せば左の如し

感 狀 第五驅逐隊

明治三十七年四月十二日夜卒先險を冒して遠隔なる前進根據地より旅順口に進みて機械水雷を沈置し翌日の艦隊戰闘に於て敵の戦艦一隻を轟沈し一隻を爆破し得るの功を成さしめたるは其功績顯著なりと認む仍て茲に感狀を授與するものなり

明治三十八年一月十二日  
 聯合艦隊司令長官 東郷平八郎



感 狀 第五驅逐隊

明治三十八年五月二十七日海戦中大破せる敵の旗艦「グニャトジスワロフ」に對し附近敵艦の猛射を冒して突進し勇敢なる白晝攻撃を遂げ且つ日没後より諸驅逐隊艇隊と共に猛烈果敢なる夜襲を續行し翌二十八日に至り「不知火」は敵艦「アトミナルナヒモフ」を捕獲し既に蔚山沖に於て第六十三號艇と共に敵驅逐艦「クロムキヤ」を撃沈し又叢雲は竹邊灣附近に於て新高と共に敵驅逐艦「アイストリー」を撃滅す其功績多大にして武勇顯著なりとす仍て茲に感狀を授與するものなり

明治三十八年六月二十日  
聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

感 狀 驅逐艦陽火

明治三十八年五月二十八日鬱陵島の南方に於て敵の驅逐艦二隻と戦ひ其の一隻を捕獲し敵の王將を擒にす其の功績大なりとす仍て茲に感狀を授與するものなり

明治三十八年六月二十日  
聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

産 業

第一回阿武郡六ヶ村聯合麥多收作共進會成績

本年十月一日須佐村に於て開催したる本部福賀、彌富、小川、田万崎、須佐、宇田郷の六ヶ村聯合主催に係る第一回麥作共進會成績(別紙參考資料参照)及審査報告左の如し

審査報告

阿武郡福賀彌富小川田万崎須佐宇田郷の六ヶ村聯合第一回麥作多收作共進會開催に當り不肖乏しきを審査長の重任を負ひ審査十數日に渉り連日熱誠なる審査員各位の御努力に依り審かに之が比較審査を行ひ熟議を重ねたり

本會は先に稻作共進會を催し大いに稻作改善を促したるが本會が麥作の普及上改良の徹底に多大の刺戟を與へたることを信ず當地方の平均收量一石に三斗を出てさるに一等賞に入選したる須佐村津守幾徳氏の如き反當十俵の實收を得一般を覺醒せしめたり又二等賞竹田三次郎氏の如雪深き山間部落なる尤も天惠薄き地

於て三石二斗三舛の收穫を示せり

吾人の奮闘努力は如何に美しき結果を挙げ得るかを痛切に感せしめたり本年麥作期中に於ける天候は極めて不良にして氣温の高低順を失し多雨多温なりし事前年に比し更に甚しく成熟の時期より刈取の期に及びて干燥に失したるため順當の完熟を遂げるに遑なく遂に枯橋せるか如きは前年と其の徹を同くす

凡そ麥作は冬季に有りては地上部の發育は寧ろ之を抑制するも向地下部の發育を十分ならしめ以て春季伸長分蘗旺盛なるへき時期に及びて此に必要な勢力を蓄積するの必要あるに係はらず冬季の氣温高きに過ぎ春に入りては却て寒冷を告げ而かも高温多雨多收栽培には必要缺くへからざる培上の時期を夫したる爲め麥の生育は一般に従長軟弱に陥り成熟期直前に於ける前後二回の風雨に依りて多くは倒伏の厄に遭遇せる等作況一般に不良なるを免れざり殊に不徹底なる多收栽培倍者の麥作は一層此の厄を甚たしからしたるものゝ如し多收の實を擧んとするには先づ土地を肥し作物の旺盛なる發育に必要にして劣なる勢力を供給し得ることに努め次ぎに作物の健全なる發育に心致し以て氣候の變調病害の災等を免るゝ事に心掛けざるへからず只徒

らに多肥して軟弱なる生育を遂げしむるか如きは天候幸に順調にして何等の障害なき時或は良好の結果を得ることあるへきも夫は單に僥倖の賜にして決して健全なる進歩とは謂ひ難し況んや多收栽培に志し有るものにして往々にして慘害に際會する班葉病に對する豫防の方法を講ずる手敷さへ厭ふか如きは誠に無謀の舉と云はざるへからず本年の天候が斯の如く不順なりしは不健全なる多收栽培者に對し絶好の經驗を與へたるものと云ふへし當業者諸氏よろしく此の苦しき經驗に鑑み如期蹉跌を再びすることなき様に努めざるへからず殊に本年は前記天候の悪影響に依るの外當初麥價の悲境に有りしこと並に一般農業勞力の缺乏に依り麥の作況は著しく不良に陥りたるは明かなる事實なりとす古來最も功妙なる農家は地を肥し中農は作物を肥やさんとす只徒らに最後の收穫のみに眩惑せられて子實のみを肥さんとするは最劣農なりと曰ふ誠に至言なりと謂はざるへからず仕打後の肥培管理至らざるなく極めて巧妙なる秘補を盡せるも尙作物の初に於て土地利用の大切なるを忘れたるか爲め出来立は行人足を留たるまにては見事なりしものか結果は却つて豫期に反せるが如き實例さへなきにあらず尙出品田の品種は大牛小珍好



系に限られたるは當然の事と云ふへく其の必要な箇所に於て厚蒔に失せざるものと施肥の當を得ざるもの有り管理の比較的充分ならざりしは麥價の下落と努力拂底の結果亦止むを得ざるの所なりとは云へ尙思ひの及ばざる所なきに有らず

之を要するに當業者諸氏麥作多數に關する經驗を得たり希くは將來單に反當の絶對收量を争ふのみならず作付の増加に努め更に進んては小費多額の生産を舉げ農業本來の目的を達成し各自の副利を増進すると共に國家社會に對する吾人本來の責務を全ふすべく一般の努力を惜ひあからんことを

出品二十八点中より一等二点二等四点三等十五点合計廿一点を擬賞せり之れより褒賞の授與あらん事を

大正十年十月三日

第一回北部六ヶ村多收共進會

審査長山口縣技手 辛島 臺作

□苗代薄蒔の宣言

稻作を改良して産米の改良を圖るには其の方法一よして足らずと雖苗代を改良して健全なる良苗を作り稻として完全なる生育を遂げしむるより肝要なるはなし而して苗

の良否は播種量の多少に大關係を有し厚蒔の結果は苗を纖弱ならしめ爲めに適當なる栽植をなす能はざるのみならず周到なる肥培も十分なる効果を奏する事を得ず従つて本田に於ける稻の生育不十分なるを致し加之病水害を蒙り易きは既に農家の知悉せる所なり

而して郡下の苗代は近時漸く進歩の緒につくと雖尙改良の余地尠からず就中最も缺點とする所は厚蒔の弊にして爲めに多大の種子を徒費するのみならず其の收穫上には及はず影響亦少なからざるなり斯くの如く厚蒔をなす所以のものは畢竟積年の慣習によると雖薄蒔苗には螟虫の被害多く雜草發生し努力を要する多きを厭ふによるへし然れ共其の利益の大にして成績の顯著なる既に篤農家の實験せる所なり故に稻作改良上多大の障碍たる苗代厚蒔の弊を矯めんため郡下を通じて苗代の薄蒔を普く之を實行して増收の目的を達せん事を期す

大正十年十月三日 阿武郡北部 聯合篤農家大會

六ヶ村

▲苗代薄蒔上の基礎

一、籾を浸し籾なること

一、一坪とは中四尺長さ九尺の苗床を曰ふ

一、故に苗代は九尺竿と樹と繩とを必ず携帶せざるへからず然らざれば盲目蒔と曰ふへし

一、播種を坪三合を標準とすへし

參 考 資 料







三下	三小	川見	宇上	木田	高瀬	長高	依並	椿西	明木	立野	學校名	郡平均前月	野戶呂	生雲	相島	
谷	川	見	上	田	瀬	高	並	西	木	野	二、町村立小學校尋常科兒童出席歩合表	九八、二四	九六、三三	八七、六〇	九三、〇三	
九七、四四	九六、四二	九七、九四	九八、三四	九八、三九	九八、〇五	九八、五七	九九、三七	九八、九一	九九、五四	九九、三九	男	九八、二四	九六、三三	八七、六〇	九三、〇三	
九七、二四	九八、二五	九七、四四	九八、〇二	九八、一八	九八、七三	九九、〇六	九七、八四	九八、七五	九八、八三	九九、三八	女	九六、〇九	九五、九七	八八、九四	八九、一九	
九七、三四	九七、三六	九七、六九	九八、一八	九八、二九	九八、四五	九八、八二	九八、八三	九九、二一	九九、三八	九九、九〇	計	九六、三九	九六、一三	八八、四七	九一、三二	
一	一〇	九	八	七	六	五	四	四	三	二	十一月分	二	二	四	三	
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	位	四	三	四	三	
七	四	八	六	五	〇	二	四	七	三	九	月	一	一	三	三	

藏目	高侯	福田	吉部	大地島	奈古	育英	彌富	小川	嘉年	三谷	上川	鈴川	德佐	明倫	見島	龜山	大井	紫福	學校名	
喜	侯	田	部	島	福	古	英	富	川	年	谷	川	川	佐	倫	島	山	井	福	學校名
九〇、五四	九五、二三	九三、七三	九四、五一	九八、九二	九五、五二	九六、七五	九四、五八	九三、六四	九六、一〇	九四、四九	九六、一二	九四、八八	九四、五四	九五、八五	九六、五三	九七、二三	九六、四四	九六、九一	九七、一一	男
九二、六一	九一、五七	九三、八五	九四、二〇	九一、四八	九四、三一	九三、〇〇	九五、五七	九六、五七	九四、一三	九三、九六	九六、〇〇	九七、六三	九七、八七	九七、一二	九六、三九	九五、六九	九六、六六	九六、二五	九六、六三	女
九一、五一	九三、四六	九三、七九	九四、三六	九四、七六	九四、九八	九四、〇四	九五、〇四	九五、〇六	九五、〇八	九五、八二	九六、〇三	九六、〇六	九六、一三	九六、二五	九六、四九	九六、四九	九六、五七	九六、八七	九六、八七	計
三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	本月
三六	三四	三一	三九	三七	二六	二七	二九	三五	二四	九	三二	二五	三〇	二四	二一	一五	一九	一六	一六	前月



嘉椿三育字明	學校名	郡平均 前本月	吉生小藏高上大奈育
年西谷英田木	三、町村立小學校高等科兒童出席歩合表	月 月	都雲川喜俣川島古英
九九、四〇	男	九六、四八	九四、三五
九九、一五		八三、七一	九五、八四
九九、六五		九二、六五	九八、一三
九八、六四		九二、三七	九二、五二
九八、七八		九一、八三	九六、〇六
九九、四九		九二、〇六	九三、〇六
九九、五五		九一、〇九	九〇、一四
九九、二二	女	九二、五九	九三、七三
九六、八二		八八、八五	九〇、一四
九八、一八		八六、〇八	九一、〇九
九七、三〇		八八、五四	九二、五九
	計	九五、九七	九三、〇〇
		九六、一三	九三、七二
		九六、二四	九三、六八
		八六、一三	九三、四四
			九二、二〇
			九〇、五二
			八九、九五
			八六、一三
	本		
	順		
月 月	十月		
前 前	分		
位 位			
月 月			
一八		三五	三一
一		四〇	三二
二		二九	三三
〇		三八	三四
七		三七	三五
四		二九	三六

福地彌嘉野鈴大平椿見多德明福相龜紫白越篠	學校名	郡平均 前本月	吉生小藏高上大奈育
田福富年呂川井田東島磨佐倫川島山福水濱目	ケ	月 月	都雲川喜俣川島古英
九九、七七	男	九六、四八	九四、三五
九四、七一		八三、七一	九五、八四
九四、一八		九二、六五	九八、一三
九六、七五		九二、三七	九二、五二
九三、四〇		九一、八三	九六、〇六
九四、六八		九二、〇六	九三、〇六
九五、六三		九一、〇九	九〇、一四
九六、六二	女	九二、五九	九三、七三
九六、三三		八八、八五	九〇、一四
九七、一六		八六、〇八	九一、〇九
九六、六九		八八、五四	九二、五九
九六、二九		九五、九七	九三、〇〇
九六、四一		九六、一三	九三、七二
九六、六七		九六、二四	九三、六八
九八、一七		九四、二八	九三、四四
九六、一九		九五、〇七	九二、二〇
九七、一八		九四、七一	九〇、五二
九七、〇七		九四、八一	八九、九五
九七、一五		九二、四〇	八六、一三
九六、六四	計	九四、二四	九三、七四
九七、一五		九三、七三	九三、七二
九六、二九		九四、四一	九三、六八
九五、七八		九五、五九	九三、四四
九五、七六		九五、〇七	九二、二〇
九六、七六		九四、八一	九〇、五二
九六、七五		九四、六七	八九、九五
九四、五九		九四、四七	八六、一三
九五、八六		九四、四三	
九六、〇一		九三、七四	
九六、〇九			
九六、二二			
九六、二九			
九六、四六			
九六、四六			
九六、四七			
九六、五一			
九六、七二			
九七、二七			
	本		
	順		
月 月	十月		
前 前	分		
位 位			
月 月			
三一		三五	三一
三〇		四〇	三二
二九		二九	三三
二八		三八	三四
二七		三七	三五
二六		二九	三六
二五		二八	三七
二四		二七	三八
二三		二六	三九
二二		二五	四〇
二一		二四	四一
二〇		二三	四二
一九		二二	四三
一八		二一	四四
一七		二〇	四五
一六		一九	四六
一五		一八	四七
一四		一七	四八
一三		一六	四九
一二		一五	五〇
一一		一四	五一
一〇		一三	五二
〇九		一二	五三
〇八		一一	五四
〇七		一〇	五五
〇六		〇九	五六
〇五		〇八	五七
〇四		〇七	五八
〇三		〇六	五九
〇二		〇五	六〇
〇一		〇四	六一
〇〇		〇三	六二



紫福川高育彌篠明字佐明嘉	學校名	郡平均	大見
福田上侯英富目倫田並木西年	四、町村立小學校高等科兒童出席歩合表	前月	島島
九八、六六 九九、四九 九七、五五 九七、五八 九一、六九 九六、七六 九八、六六 九七、六六 九六、二五 九五、九〇 九七、五七 九四、五八 九五、七〇	男	九六、六一	八六、九二 八七、八六
九九、二九 九八、〇六 一〇〇、〇〇 九九、一三 九七、二〇 九八、一〇 九六、九二 九四、五〇 九八、四〇 九九、一一 九四、一八 九七、八〇 九五、五五	女	九六、一四	六八、〇六 九五、五九
九八、九〇 九八、七六 九八、四八 九八、二三 九七、四三 九七、四三 九六、七二 九六、七二 九六、五九 八六、四四 九五、八三 九五、六六	計	九六、一八	八六、九二 八三、七六
十一月分	本	十一月分	十一月分
三二一〇九八七六五四三二一	月	十一月分	十一月分
三九四八三七〇六二一一五	前	十一月分	十一月分
三九四八三七〇六二一一五	位	十一月分	十一月分
三九四八三七〇六二一一五	月	十一月分	十一月分

福生紫椿德地白小高大明三川多吉佐篠福奈彌	學校名	郡平均	大見
川雲福東佐福水川侯井倫見上磨部並目田古宮	四、町村立小學校高等科兒童出席歩合表	前月	島島
九一、九〇 九三、九九 九五、四三 九五、七九 九四、四三 九六、四二 九八、一五 九六、八二 九七、〇四 九七、四三 九五、八〇 九七、四一 九七、九六 九六、一六 九六、四四 九八、〇五 九八、一四 九八、五七 九七、三九 九八、七七	男	九六、六一	八六、九二 八七、八六
九一、六三 九四、〇三 九三、九五 九四、六一 九七、八三 九四、七〇 九三、二一 九三、五六 九四、六八 九六、二五 九八、五一 九六、七七 九五、六五 九九、三七 九九、二一 九七、五五 九七、六六 九七、〇七 九八、八五 九六、七二	女	九六、一四	六八、〇六 九五、五九
九一、八一 九四、〇一 九四、二八 九五、二八 九五、四六 九五、五九 九五、八七 九六、五八 九六、九一 九七、一四 九七、一八 九七、一九 九七、二七 九七、八三 九七、八四 九七、九一 九八、〇〇 九八、〇三 九八、一六	計	九六、一八	八六、九二 八三、七六
十一月分	本	十一月分	十一月分
二五二二二〇一九九八七六五	月	十一月分	十一月分
二四三二二〇一九九八七	前	十一月分	十一月分
二四三二二〇一九九八七	位	十一月分	十一月分
二四三二二〇一九九八七	月	十一月分	十一月分



町村名	團員數		勅語捧讀		補習教育		就學		延時數		出席數		體育	
	出席	延席	出席	延席	出席	延席	出席	延席	出席	延席	出席	延席	出席	延席
秋	三七〇	一八五〇	二三五	一一二〇	三七一	三六二	二、九〇〇	八六	一七六	二、三〇八	三九六〇	一六、五〇〇	五	一八五〇
椿東	一一九	五〇〇	一一二	二、四〇〇	一二六	四九	三、二九	三	九	一四七	七六	五、七〇〇	一	一四〇
山田	一七六	三三〇	二〇八	六、一五〇	七三	七三	一〇〇、〇〇	七	一四	五一一	三七七	七三、七六	四	二七六
三見	一九	二二六	一四五	六〇、九〇	二九	八九	五〇〇	七	二	六三三	二七六	四、三〇	二	二三八
明木	九〇	四一一	三三六	七、三三〇	一〇〇	一〇七	一〇〇、〇〇	九	二七	八九七	五五五	六五、三三	四	四一一
佐々並	一一〇	五五〇	四五六	八三、三三〇	九九	二九九	一〇〇、〇〇	五	一五	四九五	三八八	七八、三三	五	五五〇
篠生	八六	三四四	一六七	四、五五〇	七六	六五	八三、三三	二	四	一四三〇	八六八	六〇、七〇	一	四三〇
生雲	一七六	八八五	三九八	四、〇〇〇	九	六	八二、一一	一	一七	五四六	三五〇	六四、〇八	一	五四六
地福	一一三	四七五	三〇四	六、四〇〇	九	六	八二、一一	一	一七	五四六	三五〇	六四、〇八	一	五四六
德佐	二二三	一三九八	六九七	四、八六	九	六	八二、一一	一	一七	五四六	三五〇	六四、〇八	一	五四六
嘉年	八九	三三七	一八三	五、五九六	八	八	九一、〇一	一	二	八九一	五七九	六四、九八	一	五七九
高侯	一二四	六二〇	四〇一	六、四六六	二	二	八一、四五	一	六	一六三三	一一〇	七四、二四	一	一一〇
吉部	二一六	四九〇	三三五	六、六三七	九	九	一〇〇、〇〇	一	八	三九三	一八三	四六、六八	一	一八三
福川	二五七	一七三	八九七	七、四四七	三	三	九七、八六	一	二	二九七六	一七二	五七、九三	一	一七二
紫井	一四六	五八四	二三四	六、三四	一	一	九七、八六	一	二	二九七六	一七二	五七、九三	一	一七二
大井	一五七	四七一	二五二	五、五〇	一	一	一〇〇、〇〇	一	五	四〇八二	一八五	四八、一五	一	一八五

五、阿武郡青年團施設三大綱目實施狀況

(自大正十年四月一日至大正十年八月三十一日)

學校名	男	女	計	本	前	位	平均	
							前月	本月
見島	八四、八五	九三、三三	一八、三五	二八	二七	二六	九六、五〇	九六、一八
大島	八四、八五	九三、三三	一八、三五	二八	二七	二六	九六、五〇	九六、一八
福水	九〇、三〇	八九、六三	一八、三五	二六	二六	二五	九六、五〇	九六、一八
白水	九四、二一	九〇、八五	一八、三五	二五	二五	一九	九六、五〇	九六、一八
奈古	九一、〇〇	九六、二八	一八、三五	二四	二四	二四	九六、五〇	九六、一八
三谷	九三、九二	九四、〇〇	一八、三五	二三	二三	二二	九六、五〇	九六、一八
椿東	九三、五三	九四、七九	一八、三五	二二	二二	二一	九六、五〇	九六、一八
三見	九四、四八	九三、六五	一八、三五	二一	二一	二〇	九六、五〇	九六、一八
多磨	九四、六四	九三、三七	一八、三五	二〇	二〇	一九	九六、五〇	九六、一八
吉部	九四、二五	九四、六七	一八、三五	一九	一九	一八	九六、五〇	九六、一八
小川	九三、九九	九六、〇〇	一八、三五	一八	一八	一七	九六、五〇	九六、一八
德佐	九四、〇四	九六、一三	一八、三五	一七	一七	一六	九六、五〇	九六、一八
生雲	九四、七〇	九五、八九	一八、三五	一六	一六	一五	九六、五〇	九六、一八
大地	九五、一七	九六、二〇	一八、三五	一五	一五	一四	九六、五〇	九六、一八



















全全全全全全全全全全全全全全全全全

外

彌富小 福賀小 小川小 須佐小 宇田郷小 小川全 出萬崎全 須佐小 全全 彌富小 宇田郷小 須佐小 小川全 宇田郷小 小川小 彌智小 宇田郷小

〇、五〇五 〇、六一五 〇、六二五 〇、七〇六 〇、七一〇 〇、七一四 〇、七二一 〇、七八〇 〇、八〇二 〇、八三三 〇、八四二 〇、八六〇 〇、八八五 〇、八九六 〇、八六八 〇、九一五 〇、九二六

〇、一六九 〇、二〇一 〇、二一三 〇、二四四 〇、二四一 〇、二五九 〇、二六一 〇、二五八 〇、二七〇 〇、二五二 〇、二四二 〇、二八五 〇、三一六 〇、三一〇 〇、二七六 〇、二八九

一、五一五 一、八四五 一、八七五 二、一一八 二、一三〇 二、一四三 二、一六三 二、三四〇 二、四〇六 二、四九九 二、五二六 二、五八〇 二、六八八 二、七〇四 二、七四五 二、七七八

五〇、七〇〇 六〇、三〇〇 六三、八〇〇 七三、二〇〇 七二、三〇〇 七七、七〇〇 六三、三〇〇 七七、四〇〇 八一、〇〇〇 七五、六〇〇 一〇二、六〇〇 八五、五〇〇 九四、八〇〇 九三、三〇〇 九二、七〇〇 八二、八〇〇 八六、七〇〇

城大松笠柳須藤松村兒茂茂市西大藤小  
市谷野内井郷山野田玉刈刈九都村賀田野  
隆庄虎音千福長福卯勤百助落青年丑右梅安  
登熊吉藏槌助郎槌八一松郎會雄門吉郎

阿武郡報第六十號 大正十年十二月二十五日發行 大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 每月一回二十五日發行 一部(代價金拾錢)